火災・災害等発生時の対応

１　連絡体制・緊急時対応体制

１１９番通報のしかた　　『落ち着いて』　・　『ゆっくりと』　・　『はっきりと』

１１９番（花巻市消防本部）	火 事 の 場 合	救 急 の 場 合
火事ですか？救急ですか？	火事です。	救急です。
災害が起こったのはどこですか？	花巻市松園町５０番地 花巻市総合体育館　です。	
近くに目標はありますか？	目標は、花巻東高校が側にあります。	
どんな状況ですか？	○○階の○○が、どの位燃えています。 怪我人や逃げ遅れた方の状況	（誰か）が（状態）です。 出血・意識は？ ケガの場所など
あなたの名前と、今お使いの電話番号を教えてください。	私は○○です。 電話番号は○○○－○○○○です。	
	消防車の出動	救急車の出動

２　各種緊急事案発生時の対応

（1）火災・爆発・異臭事故発生時（火災発生時対応マニュアルを参照）

①　火災、爆発・異臭事故発生

②　会場スタッフは現場を確認する。

③　必要により非常放送を実施する。

〈入場者避難の必要あり〉

④　非常放送を実施する。

「ご来場の皆様にお知らせします。ただいま○○で火災（爆発・異臭）が発生しました。皆様の安全のため、一時避難していただきます。移動経路に係員が配置しておりますので、係員の指示に従い、落ち着いて避難してください。」

⑤　会場スタッフは、入場者の避難誘導、初期消火、避難路および緊急車輌の進入路確保に努める。

〈入場者避難の必要なし〉

⑥　非常放送を実施する。

「ご来場の皆様にお知らせします。ただいま○○で火災（爆発・異臭）が発生しましたが、収まりましたので、心配ございません。引き続きイベントをお楽しみください。」

⑦　会場スタッフは、入場者の沈静化に努める。

（２）地震発生時

① 地震発生

② 会場スタッフは非常放送を実施する。

「ご来場の皆様にお知らせします。ただいま地震が発生しましたので、イベントを一時中断します。現在会場スタッフが被害の状況を調べておりますので、このまま静かにお待ちください。」

③ 会場スタッフは地震の速度、震源地などの情報収集を急ぐ。

④ 会場スタッフは非常放送を実施する。

〈入場者避難の必要あり〉

⑤ 非常放送を実施する。

「ご来場の皆様にお知らせします。ただいまの地震は震度〇、震源地は〇〇県〇〇付近とみられています。皆様の安全のため、避難していただきます。移動経路に係員が配置しておりますので、係員の指示に従い、落ち着いて避難してください。」

⑥ 会場スタッフは、入場者の避難誘導、避難経路および緊急車輌の進入路確保に努める。

〈入場者避難の必要なし〉

⑦ 非常放送を実施する。

「ご来場の皆様にお知らせします。ただいまの地震は震度〇、震源地は〇〇県〇〇付近とみられています。皆様の避難の心配はございませんので、イベントを再開します。」

⑧ 会場スタッフは入場者の沈静化に努める。

（３）爆発物予告の場合

① 爆発物予告電話が入る。

② 会場スタッフは現場を確認する。

③ お客様が不審物へ近づいたり触れたりしないように留意する。

④ 情報収集・連絡班は必要により非常放送を実施する。

〈入場者避難の必要あり〉

⑤ 非常放送を実施する。

「ご来場の皆様にお知らせします。ただいま場内に危険物が持ち込まれている恐れがあることが判明いたしました。皆様の安全のため、避難していただきます。移動経路に係員が配置しておりますので、係員の指示に従い、落ち着いて避難してください。」

（４）騒擾・喧噪行為、その他入場者を著しく危険または不快な状況に置く事案が発生した場合

① 上記の事案発生

② 会場スタッフが現場を確認する。

③ 会場スタッフは今後の対応を検討する。

④ 情報収集・連絡班は必要により非常放送を実施する。

〈入場者避難の必要あり〉

⑤　非常放送を実施する。

「ご来場の皆様にお知らせします。ただいま場内で〇〇が発生しました。皆様の安全のため、一時避難していただきますので、係員の指示に従い、落ち着いて避難してください。」

（5）救急の患者が出た場合

「救急処置（心肺蘇生）の対応」のとおり対応する。

また、救急でなくても負傷者や体調不良等を発見した場合は、救護担当へ連絡する。

その後、状況に応じて付添人に引き渡す、医療機関に連絡し、患者へ紹介する。また、必要に応じ、タクシーの手配を行う。

３　初期消火の要領

①　消火活動の留意点（あらかじめ消火器の設置場所を確認しておく）

ア　消火器を持ってかけつける。

イ　立ち上がる炎や煙に惑わされず、火元を見極め、火元を消すように噴射する。

ウ　みだりに窓やその他の開口部を開けたり、破損したりしないこと。

エ　小さな火でも完全に消す。状況に応じ踏み消したり、衣服でたたき消したりする。

オ　火災および消火活動の状況について花巻市実施本部に報告する。

②　消火時の遵守事項

ア　消火に失敗しても避難できるよう、避難口を背にして消火すること。

イ　消火器で消火できる範囲は、一般的に天井に着火するまでの間であり、天井付近に火が達したらすぐに避難すること。

消火器の使い方

1．安全ピンを抜く　→　2．ホースをはずして火元に向ける　→　3．レバーを強く握って噴射する



消火器のかまえ方	
●屋外で使用する場合、風上から消火する。 ●低い姿勢で熱や炎を避けるようにして、徐々に近づく。 ●炎や煙にまどわされずに火元にノズルを向け、火元を掃くように左右に振り消火する。	

救急処置（心肺蘇生）の対応

人が倒れている！
まず、周囲の安全を確認する

反応はあるか？
（「大丈夫ですか？」、肩をたたく

ない

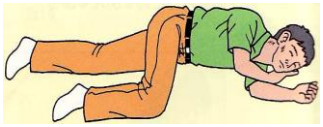
周囲の人に助けを求め、
１１９番通報とＡＥＤ依頼

気道確保

普段どおりの息をしているか？

ある

《回復体位》
注意深く見守り続ける

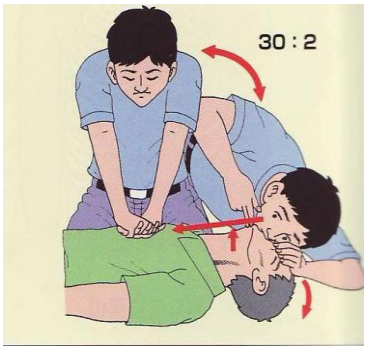


ない

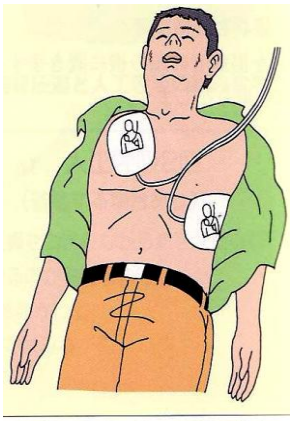
人工呼吸２回

小児への胸骨圧迫は、胸の厚さの 1/3 まで沈むように行う。

《心肺蘇生》
- 胸骨圧迫：人工呼吸（３０回：２回の割合で行う）
- 胸骨圧迫は、強く（４～５ｃｍ沈むまで）、早く（１００回／分を目安）、絶え間なく行う。



《ＡＥＤ到着》
電源をいれ、音声ガイダンスのとおりに行動する
（電極パッドをつけるなど）


電極パッドを貼り付ける位置

傷病者に触れない、
心肺蘇生中断。

ショックが不要

ショックが必要

除細動実施（電気ショック）

すぐに心肺蘇生再開。（２分間）

救急隊に引き継ぐか、何らかの応答や目的のある仕草が出現するか、普段どおりの息をし始めるまで続ける。